

令和6年度「南区まちづくり活動サポート事業」実施事業一覧

No.	提案団体	事業名	事業概要	委託料 (単位:千円)
1	ボランティアサークルふおうはあと	みんなの居場所をみんなでつくる	縦横斜めの豊かな関係を築き、地域みんなが顔なじみ・地域のみんなで子育てしようを合言葉に、地域の集える場所で、誰にとっても居心地の良い居場所をつくる。	500
2	コミュニティ茨曾根	描け！広がれ！選ばれる白南未来図	白南地区が直面する急激な少子化局面で、定住人口や関係人口の確保を目指すためには、3地域の魅力や強みを総動員した「選ばれる」地域づくりが重要である。 中学校区を一にする地区住民自らが地区の最重要課題である「こども・子育て」に関する課題解決策を「白南未来図」として起草し、それを電子・紙の両媒体を用いて「広く・分かり易く」発信・伝達し、3地域住民が一丸となった「選ばれる」地域づくりを目指す。	500
3	庄瀬地域コミュニティ協議会	続・温故知新 ～もっと愛するまち庄瀬	令和5年度に南区まちづくり活動サポート事業にて作成した冊子「温故知新 ～愛するまち庄瀬」の継続事業。地域が活発だった頃の庄瀬のイベントや学校行事、団体活動などにスポットを当て、郷土史には載っていないような住民目線のエピソードを集め、「続・温故知新 ～愛するまち庄瀬」として冊子にまとめる。 取材や編集作業を通じて庄瀬の地域民の逞しさや人と人との繋がり、地域を愛し、地域を楽しむ姿を共有・伝承する。	300
4	味方地区コミュニティ協議会	あじかた食の歴史ロマン隊	先人たちが開墾した大地の恵みである農作物、中の口川が育んだ鮭やマス・川カニ、郷土の料理である塩引き団子など、当地域には独自に発達した食文化がある。 またそれらの特異性を活かし地元の特産物を始め全国からストーリー性の高い食を仕入れるなど、SNSを活用して繁盛している、当地域の小さなスーパーもある。 このような地域で活躍する食の人材を活用して、味方小中学校で地域食文化の歴史と生活形態や食文化がどのように発展してきたかの学びを提供する。	300
計				1,600